

海外安全対策情報

【2025年7月～9月】

当地に居住する在留邦人の皆様及び旅行や出張等で当地を訪れる短期滞在者の皆様
が、当地で安全にお過ごしいただくため、ご注意頂きたい事件・事故情報などにつ
いて、以下のとおり取りまとめましたので、皆様の安全対策の参考にしてください。

また、日本国内でも多発している警察官等を名乗る特殊詐欺について、当地在留邦
人にも電話し、個人情報、制服、身分証、逮捕状などを示すなどして警察官と誤信さ
せインターネットバンキングを介して送金させる手口が発生しています。注意点とし
ては下記のとおりです。

- 警察官等が突然スマホにビデオ通話やSNSで連絡することはありません。
- 警察官が警察手帳や逮捕状の画像を送ることは決してありません。
- 例え、ビデオ通話で身分証を提示されても絶対に信用せず、不審な電話等は
一度電話を切って当館又は最寄りの警察機関などにご相談ください。
- 相手から教示された番号には、決して折り返さないでください。（詐欺は日々巧
妙化し、手口は変わっていきます。）
- 実在する警察署等の電話番号を偽造して表示させる手口も発生しています。

1. 治安概況

山東省の治安は比較的良好とされていますが、あらゆる犯罪が日常的に発生して
おり、時には凶悪犯罪と呼ばれる類の事件も発生しています。

当地での犯罪の態様としては、殺人等の凶悪事件や窃盗事件をはじめ、痴漢や盗撮
等の性犯罪や違法薬物犯罪のほか、特に詐欺被害が多発しており、微信や支付宝等の
電子決済機能を悪用した電信詐欺が後を絶たない状況にあります。

また、当地では飲酒運転に対する取締りが徹底されており、自分が飲酒後運転しな
いことはもちろん、飲酒者が運転する車両にも同乗してはいけませんし、飲酒者に自
己所有の車両を運転させないように気をつけなければなりません。さらに、売春など
の性的サービスも禁止されており、買春側も取締りの対象になります。

2. 防犯対策

当地では、過去に邦人がスリや置き引き等の盗難被害に遭う事案や、夜間に盛り場
などでトラブルに巻き込まれる事案が発生しています。よって、次のような点に留意
しながら、犯罪に巻き込まれることのないように注意してください。

- (1) 外出時は周囲をよく観察し、異変を察知した場合はすぐにその場を立ち去る。
- (2) 必要以上に華美な服装や目立つ行為、発言等は避ける。
- (3) 深夜の外出や、夜間暗くて人通りの少ない場所の通行をなるべく避ける。
- (4) 子供を一人で外出させない、外出時に子供から目を離さない。
- (5) 見知らぬ相手からの勧誘、要求には安易に応じない。
- (6) 違法薬物の受取や使用は、どんな理由があっても絶対にしない。
- (7) 不特定多数の人が集まる場所では、手荷物や貴重品の管理に細心の注意を払う。

また、（特に酔った後など）日本語で大きな声を交わしながら歩かない。

3. 事件・事故報道

(1) 凶悪・粗暴事件関連

ア 刃物使用による殺人事件（煙台市）

8月31日午後、煙台自動車工程職業学院の学生2名が個人的な関係からトラブルに発展し、1名が死亡する事件が発生した。容疑者は刑事拘留されており、事件は法に基づき捜査中としている。

(2) 窃盗事件関連

ア 住居侵入（威海市）

6月、威海市公安局文登営派出所は自宅から現金が盗まれているとの通報を受理し、発生から数日間の捜査により容疑者邵某を特定・逮捕したと発表した。容疑者邵某は犯行を認めるとともに、2025年5月以降、土地勘があることを契機とし2度にわたって被害者趙某の自宅へ侵入し、合計3万元以上の現金を窃取していたことが明らかとなった。警察は、容疑者邵某を窃盗罪で刑事拘留し、事件をさらに捜査中としている。

イ 野荒し（膠州市）

7月未明、膠北派出所は、管轄内の和睦屯村をパトロールしていたところ、路肩に停車している不審車両を発見し、さらに懐中電灯を持ってスイカ畑を照らしていた不審な男性を発見した。停車車両内にはスイカ6個が積載されており、防犯カメラなどの捜査を通して同不審者がスイカを窃取したことが判明したことから警察は同男性を治安管理处罰法により処分した。警察は夏季において相次いでスイカ泥棒5人を検挙しており警戒を強めている。

ウ 住居侵入（膠州市）

8月4日午後9時頃、三里河派出所は、被害者趙某から自宅に保管していた貴金属などが盗まれていたとの通報を受理した。警察は現場捜査を通して、駅周辺に滞在していた容疑者陳某を特定・検挙し、現場で時計、ネックレスなど時価20万元相当の被害品を押収した。容疑者陳某は犯行を認めるとともに動機について「安定した収入がなく、被害者自宅の窓が閉まっていないことに気づき、侵入して盗みを働いた。」と供述した。

エ 野荒し（済南市）

9月、済南市公安局は畑から果物のキウイ200kg余りが盗まれているとの通報を受理した。所要の捜査により、警察は車両でキウイを運び盗んだとして容疑者武某、劉某を特定し、刑事拘留した。容疑者等はキウイが成熟したところを見計らい、自己消費するために盗んだと供述した。

オ 大学内におけるノートPC窃盗（萊西市）

萊西市警察は、4月から7月にかけて大学内の寮からノートPCが盗まれたとの被害通報を相次いで受理した。警察は盗品捜査を行い、被害品を転売していた同大学に通う学生岳某を割り出し、検挙した。容疑者岳某は、学生の身分であるこ

とを利用して大学寮に侵入し、無施錠の部屋からノート PC を窃取したと供述し、被害総額は 2 万余元に上った。

(3) 詐欺事件

ア 詐欺（済南市）

7 月 15 日午前 11 時頃、嶗山公安分局詐欺防止センターは、李某が詐欺被害の可能性を有するとの情報を検知したことから管轄である沙子口派出所へ手配した。同派出所は被害者の特定に難航したが、早期被害防止の必要があることから直ちに管轄内地区コミュニティ代表者等に対して「電信詐欺被害者に関する緊急告知」と題した詐欺被害情報を地区コミュニティ微信グループへ投稿するよう依頼した。その頃、被害者李某は 8 万円の現金を持ってタクシーに乗り、現金を届けようとしていたところ、上記緊急告知内容を目にし、告知と手元の現金額が一致していたことから、自身が騙されていたことを認識し、警察へ通報した。調べによると被害者李某は以前宅配便の箱の中に当選宣伝チラシを見つけ、QR コードをスキャンしてアプリに登録した後、カスタマーサービスから 18 元の送金及び牛乳 1 箱が送られてきたことに満足し、同カスタマーサービスから「さらなる大金を受け取るにはお金が必要」などと本件現金送付の指示を受け、盲従してしまい被害に遭ったことが判明した。警察は「少額の送金は海老で鯛を釣るもの。金を渡すと戻ってこない。」と注意喚起した。

イ 高齢者標的の詐欺（膠州市）

7 月 11 日、膠州市公安局雲溪派出所は市民陳某からの相談を受理した。陳某によると「高齢の実父が日中の路上清掃作業をしていたところ、若者 2 人が携帯電話を持っていないとの理由で近づき携帯電話を貸した出来事があり、その後、実父の携帯電話の SIM カードが無くなってしまったため、盗まれた可能性がある。」との相談内容であった。同派出所は高齢者を標的とした詐欺事件として早期に捜査を行い、18 分後、被害現場付近にいた容疑者姚某を発見し、逮捕した。調べによると容疑者姚某は、高齢者を狙って SIM カードを騙して抜き取り、詐欺電話として利用している第三者へ転売していたことが明らかとなった。警察は、高齢者を標的とした「携帯電話貸与・SIM カード抜き取り」詐欺であると指摘するとともに、紛失時は、直ちに通信事業者への利用停止手続きを行うよう注意喚起した。

ウ スピリチュアル詐欺（青島市）

7 月、青島市李滄分局は、占いをういた高額商品販売の詐欺事件により容疑者曹某を検挙したと発表した。調べによると、2010 年頃、被害者劉某は、大学受験を控えた息子の合格祈願のために、神様の代理と称した容疑者曹某から風水のアドバイスを受けた。そして息子の大学合格をきっかけに被害者劉某は容疑者の言動を盲信し始め、紹介された高額な神像などの購入を繰り返した。自身の親族へ占い効果を宣伝したところ、詐欺の疑いを指摘・説教され、自身が詐欺被害に遭ったと認識した。被害累計額は 600 万余元に上り、警察は詐欺の刑事事件として捜査を進めている。

エ 詐欺（膠州市）

8 月、膠州市公安局はエアガンを 800～1500 円で違法に販売している犯罪グループを突き止め、容疑者 3 人を逮捕したと発表した。さらに容疑者等の販売拠点

において在庫のエアガンを差し押さえ鑑定したところ、すべて玩具であることが判明した。警察はエアガン販売を名目とした詐欺事件として捜査を行い、広西チワン族自治区にある会社の社長黄某など多数が関与した組織的関与事件であることを解明し、容疑者 80 人余りを検挙した。

オ 詐欺（済南市）

8 月、歴下公安燕山派出所は、詐欺防止センターからの緊急通報を受け、管轄内に居住している市民馮某が TikTok カスタマーサービスを名乗る詐欺師から数萬元を振り込むよう誘導されているとの犯罪情報を入手した。警察は、「96110」の反詐欺代表電話番号を通じて馮某に電話を試みるも、通話中であつたため、自宅へ急行したところ、馮某が携帯電話を通して詐欺師と画面共有を行っており、送金する場面に遭遇した。警察は、通話を断電させるとともに状況を確認すると、馮某は「TikTok 会員の無料期間終了に伴い、毎年 9800 元の基本料金が自動的に引き落とされると言われ、キャンセルにはアプリのダウンロードが必要と誘導された。」という。

カ 美人局（青島市）

9 月、李滄公安分局九水路派出所は、被害者趙某から通報を受理し、美人局の詐欺被害を認知した。調べによると、被害者趙某は SNS で知り合った女性と連絡、面接し、懇意になると女性を自宅へ招いた。女性はトイレに行くと言って部屋を離れ、寝室で待機させていたところ、突然 2 人の男が押し入り、趙某に対して恐喝し、1100 元を支払わせた。警察は早期に容疑者孫某ほか計 4 人の共犯者を特定し、逮捕した。さらに容疑者等は同様の手口を用いて複数の都市において犯行を繰り返していたことが判明した。警察は「このような待ち合わせに応じると、想像していたような美しい出会いはなく、露骨な脅迫が待っており、最終的に財産を失う。」として注意を呼びかけている。

キ 詐欺（萊西市）

9 月 17 日午後 5 時頃、萊西市公安局は、詐欺防止センターからの通報を受け、市内に居住する女性呉某が 19 萬元の現金を引き出し、詐欺に遭っている可能性が高いとの情報を入手した。警察は、現場へ向かい呉某へ詐欺であることを説得すると、同人は、当初詐欺ではないと否定していたものの徐々に警察の説明に納得した。呉某によると、9 月初旬、SMS を受信し、相手方は自身の氏名など正確に知っていたことから、SNS の連絡先を交換した。相手方からお金を稼ぐ方法を助言され、盲信して指示通りにアプリをダウンロードし、銀行から 19 萬元借り入れ、これから現金を渡す準備をしていたという。

（4）交通事故・違反関連

ア 交通違反

9 月 23 日、青島市公安局は、交通取締運動「百日行動」の一部の結果を下記のとおり発表した。

○9 月 11 日午前 2 時頃、市北区において白色ジープ車両の運転手に対する飲酒検査を実施。呼気 124mg/100ml を計測し、酒酔い運転により検挙。

○9 月 15 日午前 1 時頃、市南区において目撃者から飲酒運転容疑の通報を受理。当該運転手への飲酒検査を行い、呼気 124mg/100ml を検知し、酒酔い運転によ

り検挙。

○9月17日午後2時頃、即墨区において普通乗用車の運転手に対する飲酒検査を実施。呼気58mg/100mlを計測し、酒気帯び運転により検挙。

○9月18日午後9時頃、崂山区において白色バンの運転手に対する飲酒検査を実施。呼気25mg/100mlを計測し、酒気帯び運転により検挙。

(5) その他

ア 違法漁猟

7月9日午後10時頃、膠州市水利局は、山洲ダムにおいて電気ショックを用いた違法漁猟をしている人物がいるとの情報提供を受けた。現場臨場し、容疑者が漁猟を終えて上陸したところ現行犯逮捕した。容疑者は連日に渡って複数回犯行していたと供述しており、同局は漁獲箱2箱及び犯行道具等を押収、膠州市洋河鎮派出所へ身柄を引き渡し、容疑者は刑事拘留された。

イ 虚偽の事件情報を作成・拡散（棗莊市）

8月、薛城区公安は、棗莊市居住の容疑者張某がインターネット上において偽造した事件の短編動画、写真を投稿し、地元住民等を不安に陥れ、公共秩序を乱したとして行政拘留したと発表した。調べによると容疑者張某は、注目を集める目的で過去に警察官が現場に出動してトラブルの仲裁をしていた実際の動画を元に「銃撃戦により1人死亡、1人負傷」とした短編動画等を本物であるかのように偽造し、発信したという。

ウ 成人向け違法広告配布（青島市）

8月、李滄公安虎山路派出所は、路上駐車車両に成人向け違法広告を貼付したとして容疑者王某ほか3人を行政処罰したと発表した。調べによると容疑者等は、SNS上で募集されていた違法広告配布のアルバイトに応募した後、指示に従って広告作成の機材を購入し、夜間、駐車車両などへ当該広告を貼付して違法に利益を得ていたという。

エ 指名手配犯（膠州市）

8月4日、某女性が李兄莊派出所の戸籍窓口において申請を行い、窓口業務の警察官が身分情報を照会したところ、指名手配人物であることが判明し、その場で検挙した。

オ 地震（濰坊市青州市）

8月16日21時頃、中国地震台網の正式測定によると、山東省濰坊市青州市においてマグニチュード3.0の地震が発生し、震源の深さは11キロメートルであった。

4. 治安対策等報道

(1) 政府機関発表

ア 山東省政府

8月5日、山東省人民政府報道弁公室は記者会見を開き、今年は「電信詐欺対策三ヶ年行動」の二年目「深化攻堅年」として、下記のとおり進捗状況等を発表。

- ビッグデータの分析能力向上により、1 日平均 31,700 件の詐欺電話、45,600 件の SMS を遮断。
- 詐欺関連資金の監視・分析を強化し、省内の銀行 31 社と関連機関との連動モデル 801 通りを構築し、詐欺関連資金取引の迅速な発見・処理を実現。
- 「クラウドソード」「カード断絶」などの取締特別行動を展開し、容疑者 13,400 名を逮捕。マネーロンダリング、機器供給などのブラック・グレー産業対策集中作戦では、80 回作戦を実施、容疑者 6,935 名を逮捕、犯行用機器 574 点、銀行カードと SIM カード 323 点を押収。
- DeepSeek の利用・分析により、1 日平均 150 万余元りの損失を回避。
- 公安機関は警察・通信・銀行・企業の四者連携を強化。本年、省で 938.6 万件の警告情報を発信。
- 「SMS+音声自動応答+電話+訪問説得」の 4 つの手法を用いて、今年、省内で電話による警告は延べ 112.9 万人、訪問による被害防止の説得は延べ 113.1 万人、住民の損失 17.3 億元を回避、説得成功率は 99.99%に到達。

イ 済南市政府

9 月 30 日、済南市人民政府報道弁公室は、電信詐欺取締状況を下記のとおり発表した。

- 2025 年 1 月～8 月
 - ・済南市電信詐欺の立件数、被害金額、詐欺予防警告数、犯行供用物（SIM カード、銀行カード）は、前年同期比でそれぞれ 2.44%、8.46%、43.33%、21.6%減少。
 - ・電信詐欺容疑者及び関連犯罪容疑者 3,154 人を逮捕。
- 詐欺予防警告が示された事案においてはその後「被害発生ゼロ」を維持しており、事件の被害金回復数は省内第 1 位。
- 7 月 29 日、公安局刑事支隊と済南市歴下区分局は、他省の詐欺グループ幹部周某を検挙し、関係する容疑者 90 人を逮捕。
- 貴金属を郵送する新型詐欺手法について、公安は各区・県に所在する貴金属会社・店舗など約 570 余りを調査し、「貴金属業マネーロンダリング防止承諾書」を締結。